資料１－４

火災の状況・消防用設備等の状況

平成29年3月14日

消防庁予防課・消防研究センター

火災の概要

１　発生日時等

- 発生時刻：平成29年2月16日（木）　（調査中）
- 覚知時刻：平成29年2月16日（木）　9時14分
- 鎮圧時刻：平成29年2月22日（水）　9時30分
- 鎮火時刻：平成29年2月28日（火）17時00分

２　死傷者等

（1）人的被害

・負傷者2名（重傷1名、軽傷1名）

（2）建物被害

・焼損程度　：調査中

・焼損床面積：約45，000㎡（調査中）

消防用設備等の状況

階	床面積（㎡）	用途	消防用設備等
塔屋１階	22.69		なし
地上３階	20,777.67	倉庫	消火器、屋内消火栓設備、 自動火災報知設備、誘導灯
地上２階	23,908.06	倉庫	消火器、屋内消火栓設備、 自動火災報知設備、誘導灯
地上１階	27,183.17	倉庫	消火器、屋内消火栓設備、 スプリンクラー設備（一部）、屋外消火栓設備、 自動火災報知設備、誘導灯、総合操作盤
合計	71,891.59		

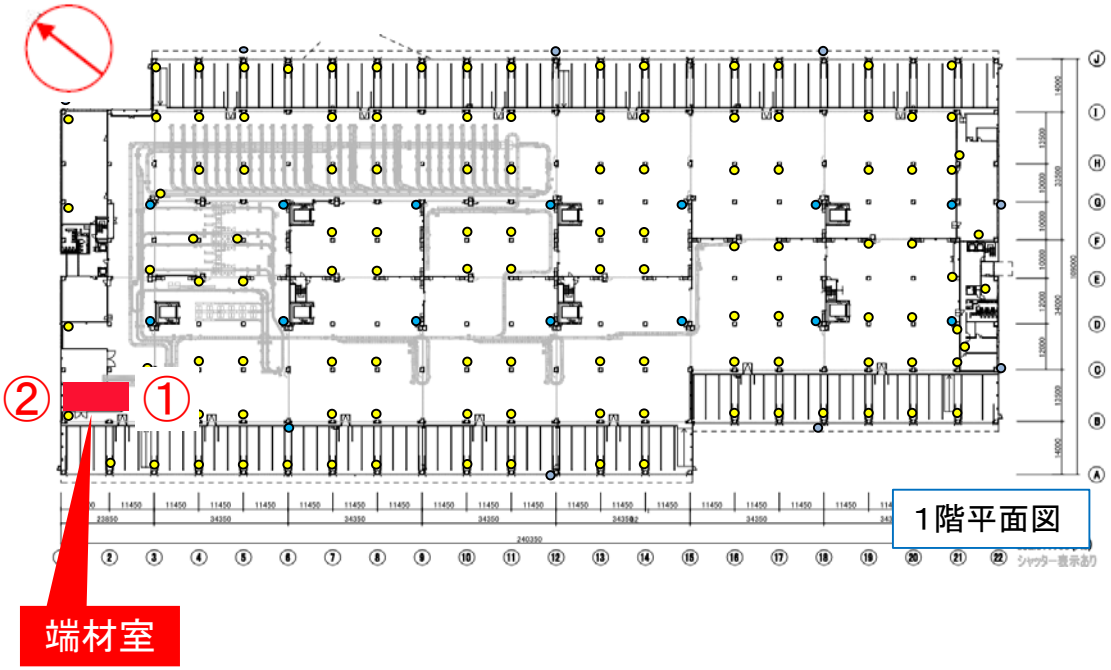
火災時の建物の状況

火災発生後に、建物上空から撮影した写真

2月16日12時頃　埼玉県防災航空隊撮影

2月16日14時頃　埼玉県防災航空隊撮影

出火原因（1階端材室の状況）

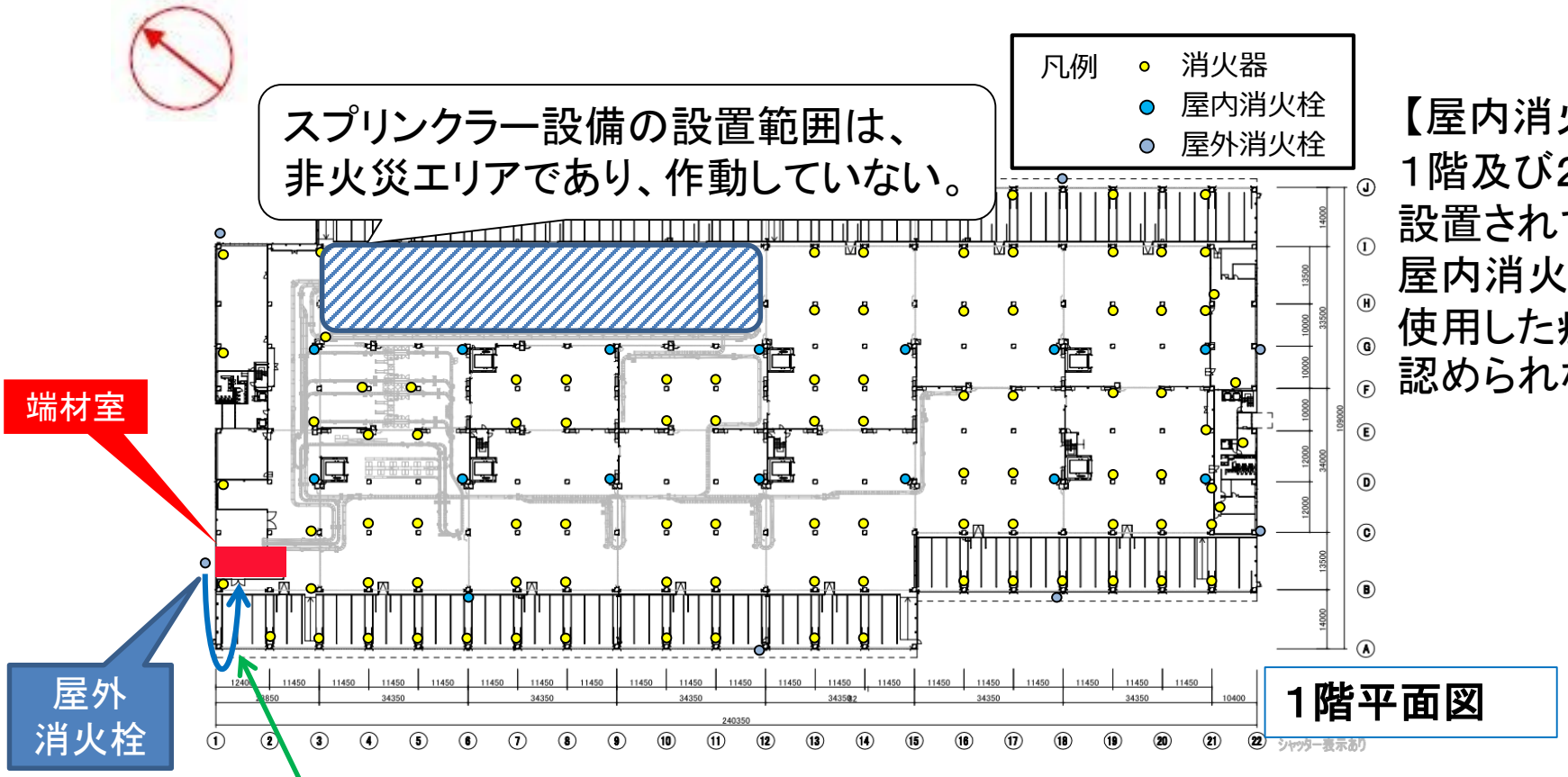


①【端材室内（南側）】

②【端材室内（北側）】

出火原因については調査中。
出火箇所は端材室（廃ダンボール置き場）である可能性が高い。

屋内消火栓設備、屋外消火栓設備の状況



【屋内消火栓】
1階及び2階に設置されている屋内消火栓を使用した痕跡は認められない。

屋外消火栓から端材室までのホース延伸状況（推定）
外壁を回り込んで延伸

【屋外消火栓】

- 従業員2名が初期消火のために屋外消火栓設備のホースを延伸したが、ポンプは起動していない。
- 一部の屋外消火栓のホースは、消防隊が借用して消火活動を実施した。

消火器の状況

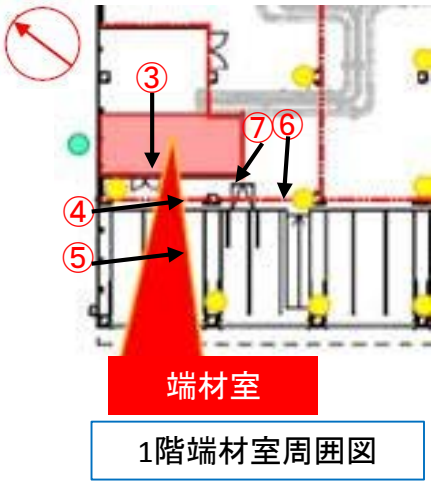
③【端材室内部の消火器】

④【端材室入口付近の消火器】

⑤【端材室入口付近の消火器】

⑥【端材室入口付近の消火器】

⑦【端材室入口付近の消火器】

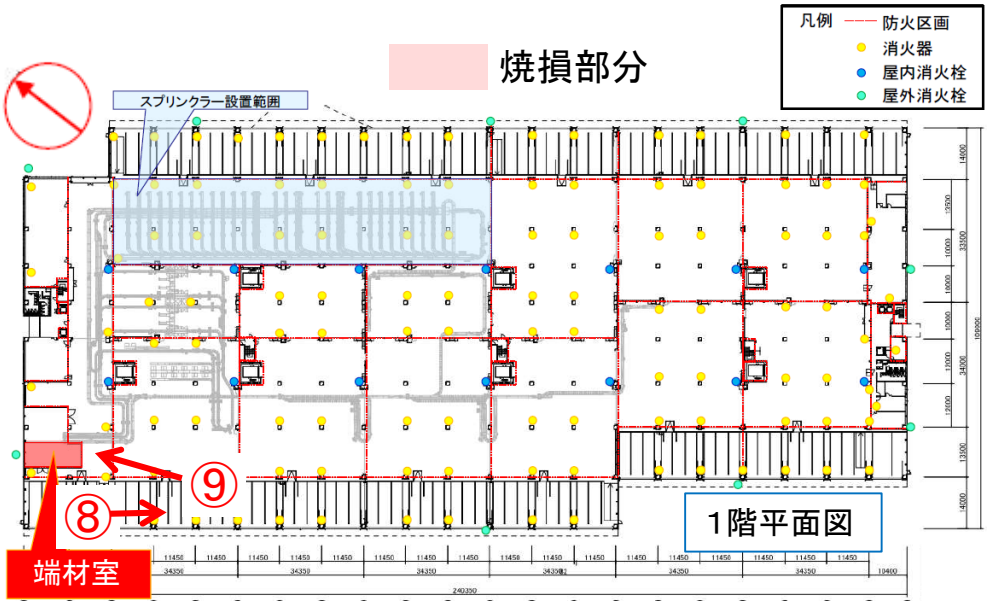


1階端材室周囲図

端材室の入口付近に初期消火に使用した消火器が認められる。
使用済み21本
ピン抜き未使用4本
未使用17本
（所定の位置から持ち出されたもの）

消火器を用いた初期消火には8名が従事。

１階の焼損状況

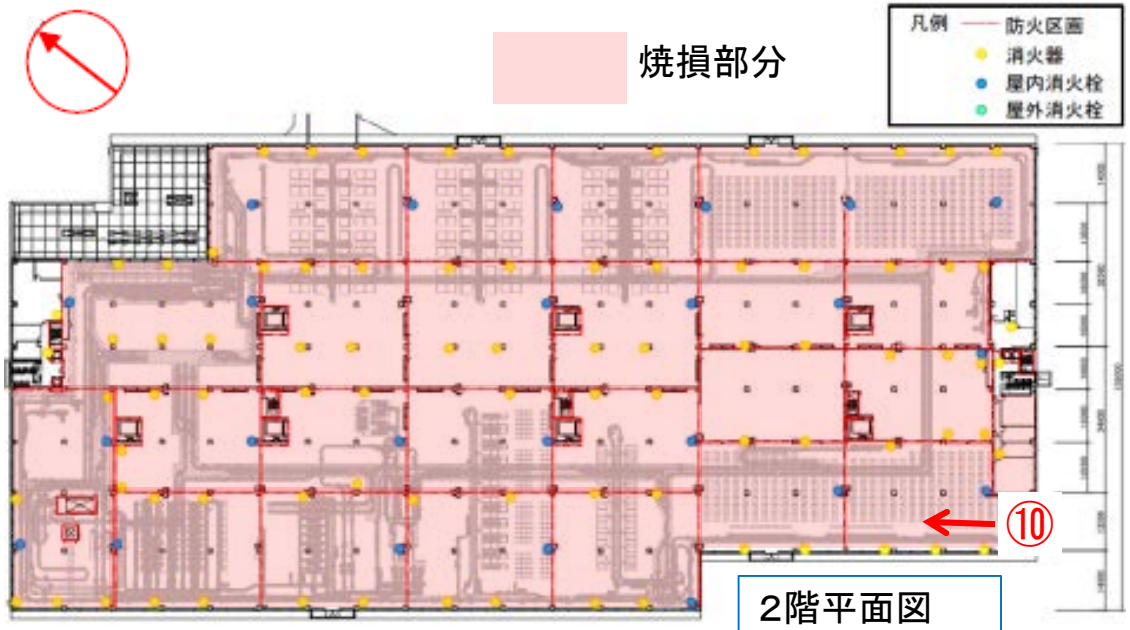


１階部分は、端材室（廃ダンボール置き場）を除き焼損は認められない。

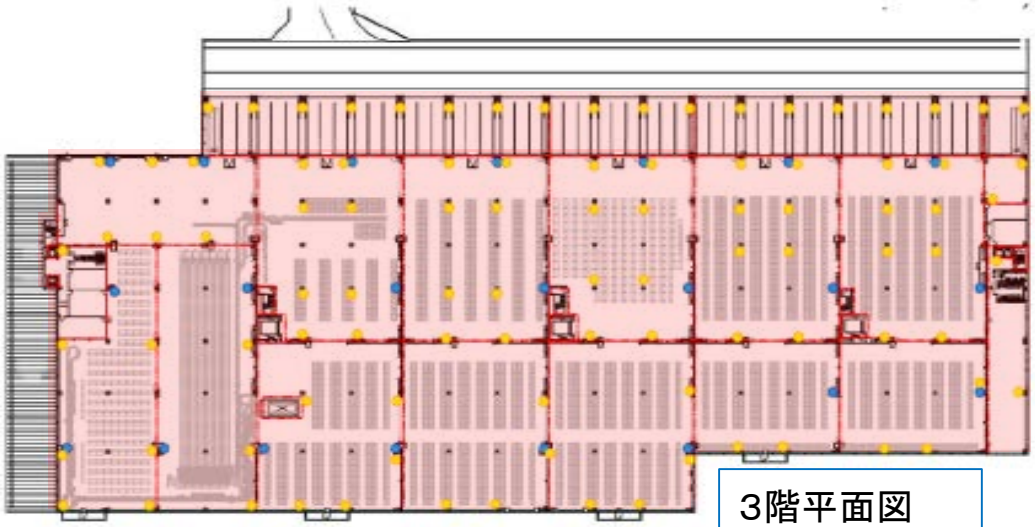
⑧【端材室の西側】

⑨【端材室の南側壁面】

2階及び3階の焼損状況



2階平面図



3階平面図

⑩2階建物内部

・1階端材室から出火し、2階に延焼した可能性が高いと考えられる。

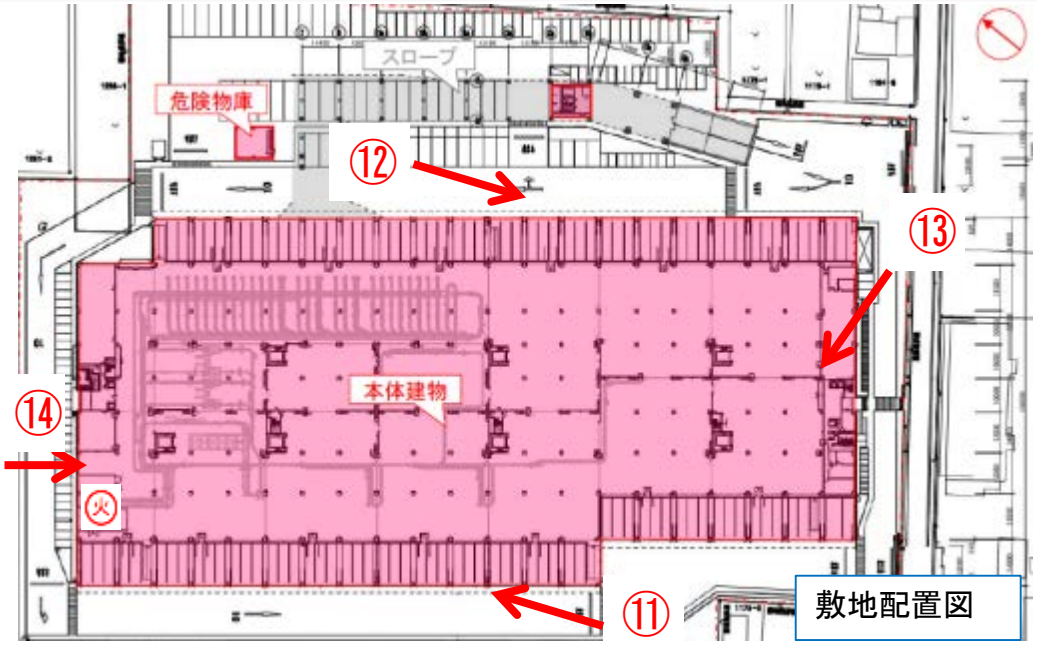
・2階及び3階はほぼすべてが焼損している。

在館者情報など

- 出火当時の在館者・避難の状況など
  9時54分　建物関係者により在館者421名の避難完了を確認

421名の階別内訳
1階　139名（事務所30名含む）
2階　235名
3階　　47名

建物外壁の状況



敷地配置図

⑫北東側外観

⑬南東側外観

⑪南西側外観

2階・3階の外壁に重機を用いて、赤枠の開口部を設けて放水

⑭北西側外観